

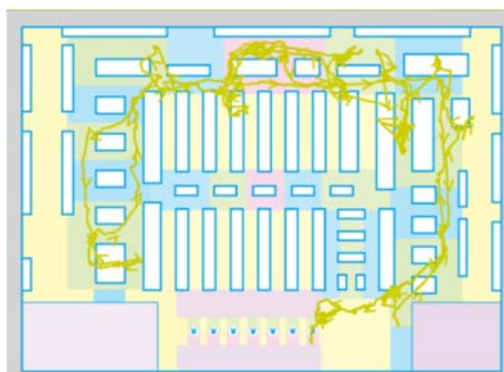
ツルハドラッグ、サトーと各店にて消費者の購買前行動を把握する実証実験を実施  
～キリン、ユニ・チャーム、ライオン、ロッテ、大日本印刷が参画～

## 株式会社ツルハホールディングス

この度、株式会社ツルハホールディングス（本社：北海道札幌市、代表取締役社長：鶴羽 順）の子会社である株式会社ツルハ（本社：北海道札幌市、代表取締役社長：八幡 政浩）は、株式会社サトー（本社：東京都目黒区、代表取締役社長：小沼 宏行）と、店舗内の顧客の動線データを取得し、店舗レイアウトやマーケティング、プロモーションなどに活用する実証実験を実施いたしました。ID-POSの情報と一筆書きの動線データの突き合わせ分析は業界初となります。

消費者の購買行動は、オンラインでは解析ツールなどを用いて詳細な把握が進んでいますが、その一方で、オフライン（実店舗）で、どのような人が店舗内のどの場所を歩いて、何の商品と比較して購入した、またはしなかったのかといった、購買前を含む消費者の行動を詳細に把握することは困難でした。

今回の実験では、実店舗内での消費者の動線データとツルハドラッグのID-POSデータをひも付けし、これまで把握が難しかった「商品を買わなかった人たち」も含めた来店客のデータを取得、分析します。



### ■概要

- 1) お客様の持つ買い物カゴにセンサータグを取り付け、店舗の天井にセンサー受信機を設置することで来店客の動線データを取得します。（高精度位置測位技術「Quuppa」を使った株式会社サトーの開発するソリューションを利用。50cm単位での精緻な位置測位を行い、来店客がどの棚やレジを通過したかまで把握可能です。）
- 2) 一筆書きの来店客の動線データと、ID-POSデータを突き合わせ、店舗レイアウトや都市型店／郊外型店の違いによる行動差などを分析します。
- 3) 店内に設置したデジタルサイネージに、メーカーによる広告コンテンツなどを配信し、購買行動の変化を分析します。（サイネージは、大日本印刷株式会社が提供）

#### ■実験詳細

- ・ 実験期間：2020年7月～10月
- ・ 対象店舗：ツルハドラッグ 南品川店（東京都品川区南3丁目6-8）  
ツルハドラッグ 川崎下麻生店（神奈川県川崎市麻生区下麻生2-1-11）

#### ■参加企業

参加企業はツルハのほか、キリンググループ3社とユニ・チャーム株式会社、ライオン株式会社、株式会社ロッテの消費財メーカー、株式会社サトー、大日本印刷株式会社です。

業界の垣根を越えてリテール分野でのAI技術活用を推進する、一般社団法人リテールAI研究会の活動として行います。

#### ■参加企業詳細

- ・ キリンホールディングス株式会社
- ・ キリンビバレッジ株式会社
- ・ キリンビール株式会社
- ・ ユニ・チャーム株式会社
- ・ ライオン株式会社
- ・ 株式会社ロッテ
- ・ 株式会社サトー
- ・ 大日本印刷株式会社
- ・ 一般社団法人リテールAI研究会

以上

本件に関するお問い合わせ先

株式会社ツルハホールディングス 総務部 TEL：011-783-2755

弊社ホームページ

<https://www.tsuruha-hd.co.jp/>